

地域で語る

命を守る知恵

有珠山火山噴火総合防災訓練



有 珠山の噴火を想定した防災訓練が、9月2日に行われました。

今回の訓練では、NHKの協力で町民が命を守るためにできることを話し合う「地域ミーティング」も開催。日常生活での交流を絶やさず、災害時に住民同士で安全を確保

し合う方策などを話し合いました。

避難訓練では、住民や防災関係機関など約250人が参加。有珠山噴火の被害が想定される避難対象区域の町内16自治会に避難指示を発令し、一時集合場所からバスでの避難や、自家用車で直接避難場所へ避難し、避難ルートや避難方法などを確認しました。

洞爺湖文化センターでは、町とNHKによる地域ミーティングを実施。6グループに分かれ、噴火が起きた場合に身を守るためにできることについて意見を交わしました。

意見をメモした用紙には「近所との関係をつくっておく」「日ごろからのあいさつ」など近所とのコミュニケーションを重視する意見が見られたほか「日中は一人になる」などの不安に加え、年齢や体調を心配する声も見られました。最後はグループごとの発表もあり、一般の来場者も熱心に耳を傾けていました。

